

## 評価シート 様式

取組名	街道を活かした桑折のまちづくり実践調査		
実施団体名	桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会	対象地域	福島県伊達郡桑折町
(代表団体名)	桑折町	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	街道を活かした桑折のまちづくり実践調査		
実施団体名	桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会	対象地域	福島県伊達郡桑折町
(代表団体名)	桑折町	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	他地域における成功事例を積極的に取り入れ、その地域にあった取組に仕立てつつ、市民のまちづくりに対する意識向上に努めている点において、他の地域にとっても参考となるモデル性がある。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、他地域における成功事例を積極的に取り入れ、市民のまちづくりに対する意識を高めている点などが評価できる。今後は、以下の点に留意しつつ、地方の元気再生事業を継続することにより、本格的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、今年度実施したそれぞれの取組間の連携が十分でなかったことの反省を踏まえ、どのように有機的に連携させていくべきかに注力したうえで、取り組むべきである。
	具体的には、次年度予定している、「軽トラ市」、「三元自転車の復元試行」、「桑折茶屋」、「屋号・黒塀」等のそれぞれを個々に実施するのではなく、実施区域を明確に定めたうえで、桑折の特色である街道と関連づける、あるいは街道沿線の地域と連携して実施する等、それぞれの取組を有機的につなげ、相乗効果が発揮されるよう、工夫すべきである。また、地方の元気再生事業の終了後も継続して実施できる取組に重点化する等の検討もすべきである。
	他方、羽州街道サミットの継続開催に向けた検討については、地方の元気再生事業とは別に、参加自治体と連携のうえ、町の事業として取り組むべきである。